

「大きな栗の木」

谷川俊太郎 23 歳当時の書き下ろし戯曲を朗読劇として再演
併演

「quand même」

19 世紀フランスの女優サラ・ベルナールの生涯をミュージカル形式で描く

2025
11月14日(金) ・大きな栗の木 & 家族の肖像
11月15日(土) ・大きな栗の木 & 家族の肖像
・ quand même + live
11月16日(日) ・ quand même + live
・大きな栗の木 & 家族の肖像

開場 19:00 / 開演 19:30
開場 13:30 / 開演 14:00
開場 17:30 / 開演 18:00
開場 13:30 / 開演 14:00
開場 17:30 / 開演 18:00

各回限定席数 完全入替制
(いずれも上演時間約 1 時間 45 分 (休憩込み))

上記各回 MC=3800+2drinks order
同日公演通し MC=7300+4drinks order
(1drink 600 ~)

CAFE **BEULMANS**

世田谷区成城6-16-5 カサローザ成城 2F

03-3484-0047

mail : info.cafebeulmans@gmail.com

メールでご予約の場合、
必ず当日ご連絡の取れる電話番号を
ご記載下さい。



今回は、谷川俊太郎が 55 年、23 歳の時に文学座に書き下ろした女優の一人芝居「大きな栗の木」を朗読劇として再演します(初演女優は私の母、大久保知子でした！私が生まれる 5 年前のこと)そして、俊太郎の詩と賢作の曲で綴る組曲「家族の肖像」抜粋版を二人の朗読、歌唱、演奏でお届けします。
土日のもう一つの公演は女優サラ・ベルナールの生涯を描く「quand même」の再演です。乞うご期待！(谷川賢作)



谷川賢作

谷川賢作 たにかわ けんさく 1960 年東京生まれ。演奏家として、現代詩をうたうバンド「DiVa」オンド・マルトノ奏者原田節とのユニット「孤独の発明」ハーモニカ奏者続木力とのユニット「パリヤソ」で活動中。父である詩人の谷川俊太郎との共作歌曲は、「よしなした」をはじめとするソロ歌曲集、そして合唱曲、校歌等多数あり。作・編曲家として映画「四十七人の刺客」NHK「その時歴史が動いた」テーマ曲等。音楽を担当した最新映画「祈り〜幻に長崎を想う刻」(監督・松村克弥) 23 年、最新作『Old grandpa's simple joke/SOJtrio』を 1/29 に、DiVa の新作「静かな犬」を 5/13 ダウンロードと配信でリリース。谷川賢作オフィシャルサイト <http://tanikawakensaku.com/>

エスムラルダ

1994 年よりドラッグクイーンとして各種イベント・メディア、舞台公演などに出演し、講演活動も行っている。2002 年、東京都「ヘブンアーティスト」ライセンスを取得。脚本家・ライターとしても活動しており、舞台・ドラマの脚本や東宝ミュージカル『プリシラ』(宮本亜門演出)の翻訳を手がけたほか、2023 年 3 月、本名名義で『話しやすい人になれば人生が変わる』(アルファポリス)を刊行。また 2018 年 12 月、作詞家・及川眠子、作曲家・中崎英也の全面プロデュースにより、ドラッグクイーン・ディーヴァ・ユニット「八方不美人」を結成し、CD デビュー。